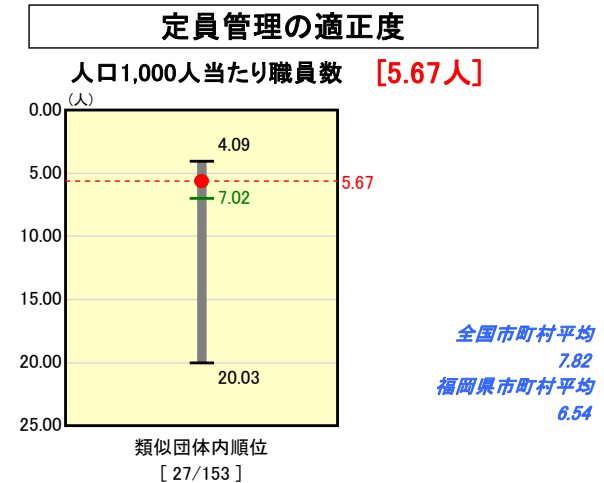
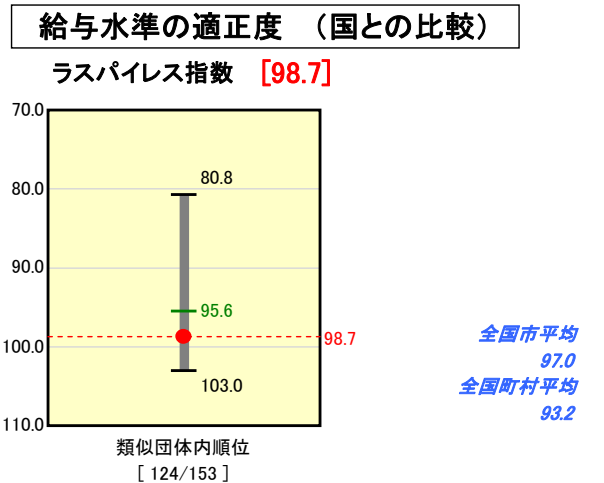
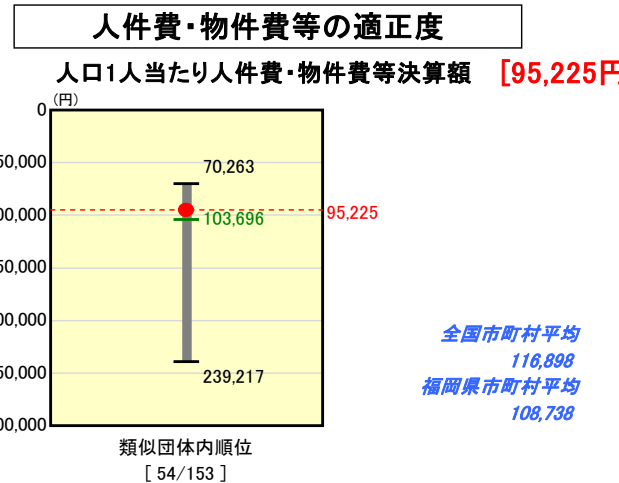
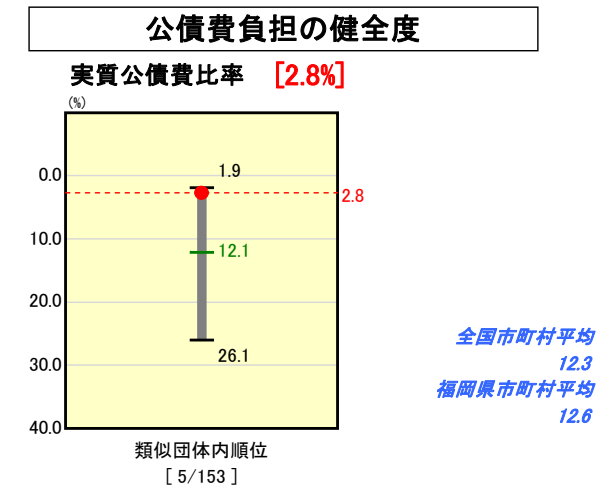
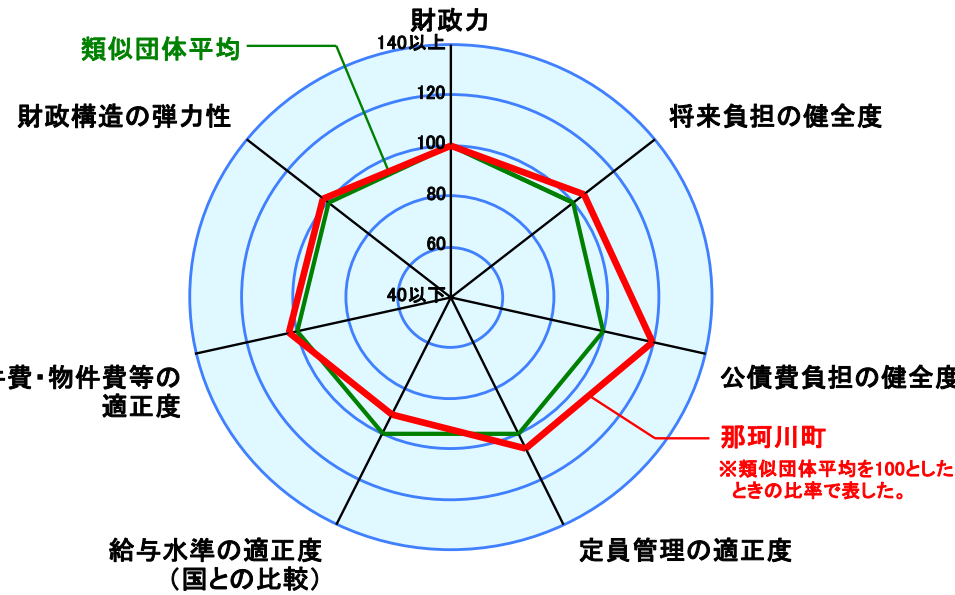
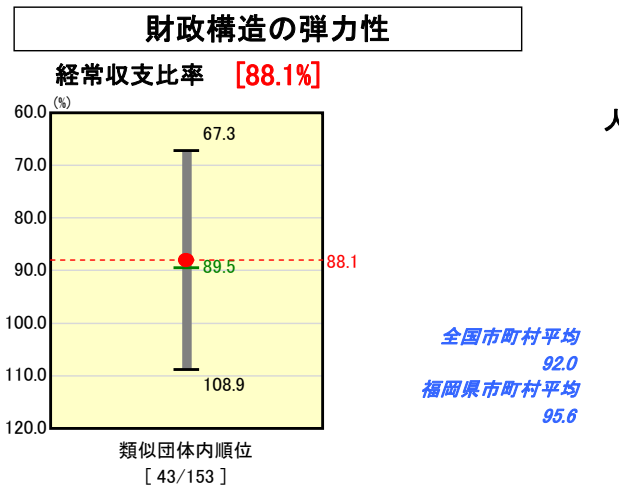
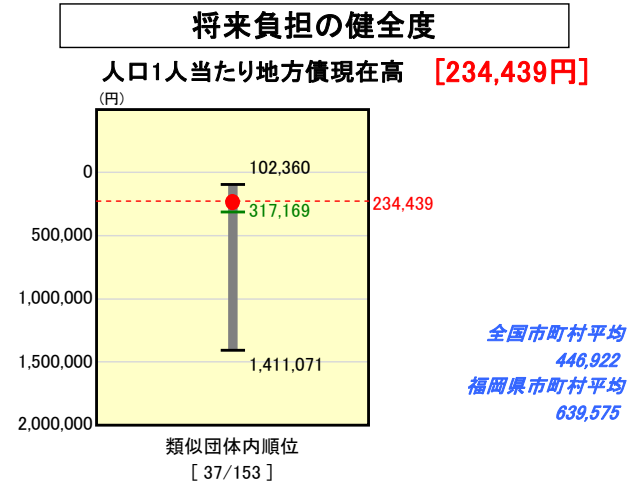
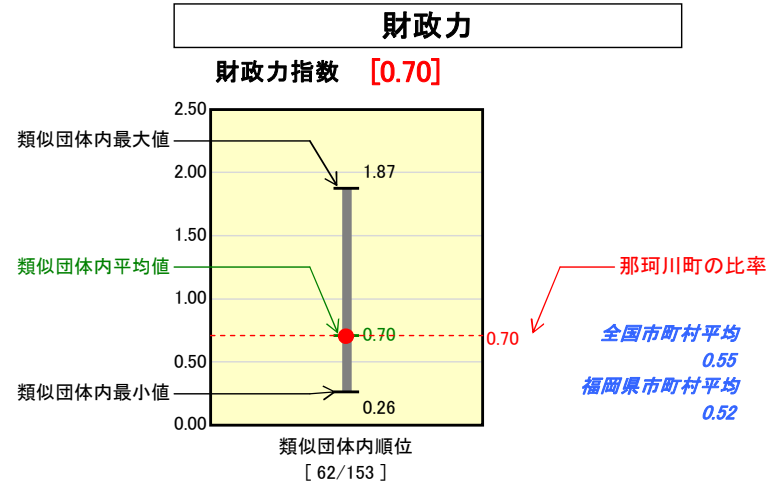


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福岡県 那珂川町

人口	49,007人	(H20.3.31現在)
面積	74.99	km ²
歳入総額	12,730,231	千円
歳出総額	12,391,099	千円
実質収支	211,741	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイレ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
ここ5年間で連続した伸びを見せており、0.70となっている。これは、税制改正などにより町民税収入が平成15年度と比較し36.7%増加したことが要因として挙げられる。今後も行政改革プラン2005に基づき職員数削減や徴収率向上など財政基盤の強化に努める。

○経常収支比率
平成15年度と比較し、歳入では町民税が36.7%(719,436千円)増加、普通交付税が30.5%減少(815,163千円)、歳出では扶助費(98.6%増)、繰出金(35.6%増)などが増加しているため、経常収支比率が88.1ポイントと大幅に上昇し非常に厳しい状況である。このため、退職者不補充(平成15年度と比較し8.2%減)や事務事業評価による事業の見直しなどコスト削減に取り組んでいる。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体平均に対して、低い数値となっている。これは、給食調理員や用務員について、退職者を不補充とし、給食調理業務や用務員業務を民間委託しているためである。今後もこの方針を継続していく予定である。

○ラスパイレ指数
国と比べて低く、適正である。H18年度よりも1.3ポイント上昇したのは、職員構成の変動等によるものであり、今後も、国の動向や他自治体の状況等を踏まえ、給与制度・運用・水準の適正化に努める。

○人口1人当たり地方債現在高
近年大規模事業が少なかったため、類似団体の平均を下回っている。今後も、地方債残高の増額を抑制し適正な財政運営を行うとともに、必要最小限の地方債の発行に努めている。

○実質公債費比率
繰上償還を実施してきたこと、公債費の元利償還金が地方交付税に算入されるものを中心に起債を行ってきたため、極めて低い数値となっている。今後、公共施設の耐震化やごみ処理施設建設などの事業が予定されているが、緊急性や必要性を的確に把握した事業の選択により、数値の急激な上昇の抑制に努めたい。

○人口1,000人当たり職員数
類似団体平均よりも低い数値となっている。これは、ごみ収集業務やし尿収集業務などについて民間委託を推進しているためである。また、定員適正化計画に基づく退職者不補充や民間委託の推進により、職員数を平成21年度までに平成16年度対比で26人削減する計画であった。平成19年度末までに23人削減しており、今後も住民サービスを低下させることなく目標達成に向け適正な定員管理に努める。